

くりやま ぎかいだより

No. 163

2020年(令和2年) 5月1日
発行／北海道栗山町議会

たのしくおるすばん

子育ては、支えあい (2020.4.3)

令和2年度予算審査 2

介護学校定数削減へ 8

第1回議会定例会 10

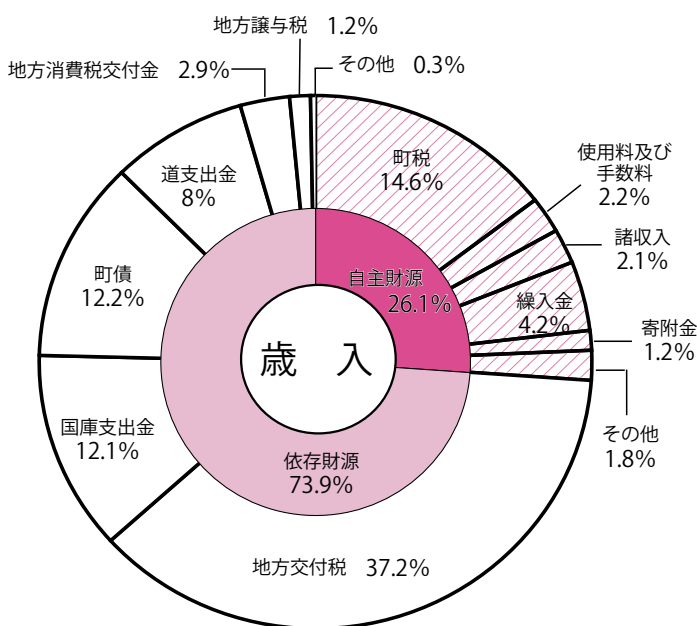
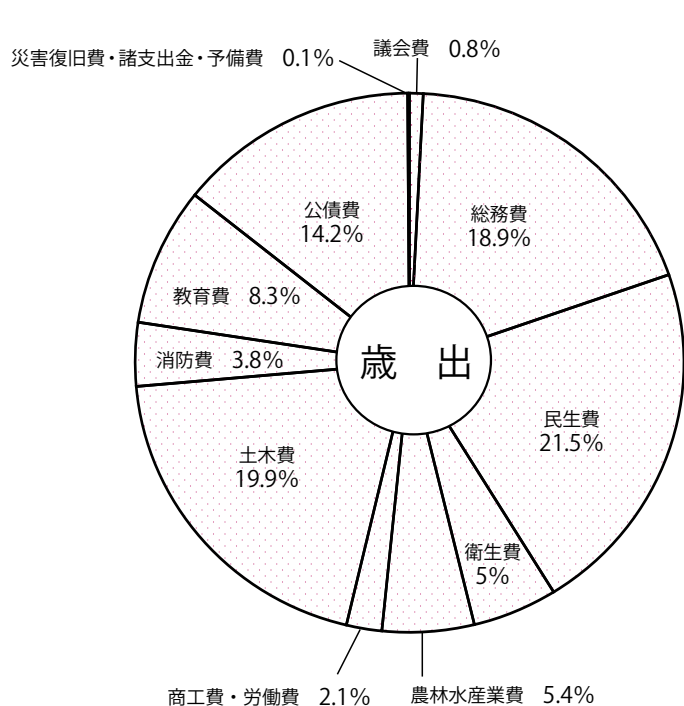
令和2年議会報告会まとめ 14

7人の議員が一般質問 16

予算総額 139億6,581万8千円
 (前年比 +1億4,657万9千円: +1.1%)

一般会計 86億3,800万円 (+1億2,700万円: +1.5%)
特別会計 33億8,233万円 (+9,391万円: +2.9%)
事業会計 19億4,548万8千円 (△7,433万1千円: △3.7%)

一般会計予算内訳



詳しい予算状況については、冊子「知っておきたい！まちの予算」をご覧ください。

この冊子は、下記施設に配置しているほか、町HPにも掲載されています。

- ・役場新庁舎1階ロビー
- ・カルチャープラザ「Eki」
- ・角田農村環境改善センター
- ・総合福祉センター「しゃるる」
- ・図書館
- ・南部公民館



町HP予算概要QR

「誰もが笑顔で、 安心して暮らすまち」 実現へ

主な事業予算

新規事業



- カルチャープラザに
非常用発電設備を整備します
3,223 万円
- 妊娠期の交通費など出産に係る費用を
助成します
180 万 6 千円

- まちなかレストラン創出事業に
取り組みます
725 万 1 千円
- シェアサイクルの実証実験に
取り組みます
51 万円
- 公園施設長寿命化計画を策定します
900 万円



継続・拡充



- 道央廃棄物処理組合による広域焼却
処理施設整備を円滑に推進します
4,566 万 2 千円
- 町営バス運行管理により交通弱者の
移動手段を確保します
※町内のイベント開催時に臨時便を
試験運行
8,070 万 3 千円

令和2年度予算〇〇がきになる！

★予算審査特別委員会の中で、議員が「きになる！」と質疑をしたものについて抜粋して紹介します。
すべての質疑については、議会HPで録画配信を行っておりますので、そちらをご覧ください。



令和2年度予算審査
録画配信 QR



防災備蓄用品購入費
342万9千円

三田議員 防災備蓄用品について、感染症対策のため、マスクの備蓄も行ってはいいか。また、現在粉ミルクを購入・備蓄しているが、ミルクを作るときにお湯が必要になるため、液体ミルクへの切り替えを検討してはどうか。

総務課主幹 マスクは現在備蓄していないが、備蓄に向け検討する。また、ミルクは全国的にも液体の普及が進められ、町民から要望も来ているので今後検討していく。

齊藤議員 ふるさと応援寄附業務外部委託料の内訳は。

経営企画課長 カフェ&バー・ゲストハウスを営んでいる地域商社へ、受付・電話対応・返礼品の発注・顧客管理・寄附者との交流イベント・パンフレット作製を委託している。費用は受付対応等固定的な業務部分として、寄附額の2%を変動分として上乗せし、1年間分を計上。固定費については、他自治体の事例を参考にして算出している。



ふるさと応援寄附業務委託
1,468万1千円



**オール北海道ボールパーク
連携協議会負担金**
0円

藤本議員 オール北海道ボールパーク連携協議会に栗山町も加入しているが、予算的な負担はないのか。また、現状は。

経営企画課長 昨年7月に協議会が設置された。現在、経費を伴うものはなく、令和2年度も予算がない中での協議を想定している。協議会内に4つの分科会が設置され、本格的な協議に入る。また、町単独としての取り組みも重要と考えており、広域の取組みと併せて検討を進めていく。

友成議員 国より返礼品の調達額を3割以内に収めるよう通達が出された際、本町はその割合を超えていた。現在はどういうになっているのか。

経営企画課長 返礼品競争が過熱し、総務省から返礼品の調達額を寄附額の3割以下にすること。返礼品は地場産品に限る等の制約を受けた。本町は、全国一律のルールに沿って行うことが妥当と判断し、平成30年4月から送料を除く返礼品額の割合を3割以下にした。



ふるさと納税返礼品
3,144万6千円

防犯カメラ設置
136万2千円

佐藤則男議員 防犯カメラの設置場所は。

住民保健課長 1台は栗山駅で、駅前の交差点を写す。もう1台はオオムラサキ館からラーメン店付近の交差点へ向け、町道と国道の信号機がある交差点を撮影する予定。

高齢者運転免許自主返納支援
279万9千円

置田議員 高齢者運転免許証返納補償費について具体的な内容は。

住民保健課長 2月末現在で返納者は91名となっている。令和2年度は、100名分を計上している。





**空家等対策協議会委員報酬
5人分 12万4千円**

三田議員 特定空家の現在の数は。また、町民が危険と考えている空家と実際に認定されている空家に乖離がある。認定基準は。

建設課長 現在8件が特定空家となっている。条例の中に定義が定められており、それを基準としている。空家の危険度だけではなく、その空家の人や他の家に及ぼす危害と防犯上の危険性を審議会委員に説明し、委員が特定空家にするか否かを判断している。



**支障物件移転補償
9,520万円**

佐藤功議員 支障物件移転補償で、中央4線道路改良6棟、双葉通り道路改良1棟とあるが具体的な内容は。

建設課長 中央4線は6棟7130万円。双葉通りは1棟2390万円。合計9520万円。中央4線は新町通、越路仏壇店横の道から道道を横断し東へ抜ける道路の拡幅を予定。内訳は、中央4線が住宅2棟・店舗1棟・倉庫1棟・物置1棟・店舗兼住宅1棟。双葉通りは店舗兼住宅1棟。



**栗山消防団第3分団第1部
第2号車庫新設 588万円**

藤本議員 日出にある消防団の車庫を継立へ統合するとのことだが概要は。

副町長 日出の分団が継立に統合し、日出分遣所にある処分車両1台を継立に移動するための車庫工事。日出分遣所については、屋根の部分に破損があり、現在応急処置している。令和2年度予算では計上していないが、国の補助金を活用して解体する予定となっている。補助金が確定次第、予算措置したい。



**学校給食施設用修繕料
30万8千円**

齊藤議員 給食センターの修繕について、修繕の進捗と残りの予定は。

教育次長 令和2年度はプレハブ冷凍冷蔵庫と排気蒸気管の更新。来年度以降も消毒保管庫や蒸気回転窯、ガス回転窯等の調理器具も順次更新していかねければならない状況のため、年次計画を立てて実施・予算化している。現在、修繕必要箇所全体の進捗については把握が難しい。優先順位をつけ、年度ごとに更新し数年かかる見込み。



**スキー場撤去工事等
1,078万円**

藤本議員 撤去内容は。また、今後の管理はどの程度考えているか。

教育次長 ロッジとリフトの撤去を予定。階段部分は考えていない。今後の管理は、スキー場全体の活用も含めて考えていかなければならない。もともと、花壇があったが、近年は夏場の管理をしていなかった。公園管理の一環として、遊歩道部分の草刈りのみ行っていた。今後は、体育施設費の中で、活用を含め町全体で考えていく。

栗高魅力づくり委員会謝礼 42万円

土井議員 栗山高校魅力づくり委員の構成人数・会議数・内容は。

教育次長 委員は設置要綱で20名以内と定められ、現在19名で構成。会議は6回を予定。内容は特徴・特色ある教育課程や地域の教育資源との連携に関する事項。近年はアドバイザーを入れて取り組んでいる。

セミナー開催 支援金 30万円

鈴木議員 介護福祉学校地域づくりセミナー支援金として歳入があるが、増やす予定は。

事務局長 全額補助金で行う事業。Ekiで実施予定。令和2年度は3回程度行う。補助金を使うのはこの1事業のみ。

公約は整理し、 現実路線の計画策定する

佐々木 学 町長



議員 ①充実した医療政策を行うには、巨額の資金や準備体制が必要である。令和2年度予算に盛り込まれていないがいかか。

町長 ①「栗山町病院整備方針」決定に向け、病院改築費用の負担・協力について協議を進めるとともに財源確保を含め長期的な財政推計を行い、

②新型コロナウイルス対策についての方針は。

③都市再生整備計画事業や関連事業に大幅な予算措置がなされており、他事業が抑制されている印象。地区のバランスに配慮した予算であるか。

④土木費・工事請負費は予算確保されているが、その他費用の予算は妥当か。

⑤委託料や工事請負費は前年比10%増だが、需用費や備品購入費は13%減。各公共施設運営等に支障はないか。

方向性がまとまり次第議会へ説明する。

②対策本部を設置し拡大防止対策を進めている。経済対策は、町内企業の要望を踏まえ、町独自の経済対策を検討。今後の動向によって、さらなる対策を行う。

③農業面では基盤整備・担い手対策等継続的に実施し、南・中・北部地区における各種事業を実施している。今後も総体的なまちづくりを推進する。

④新町通り沿線は衰退の一途。町としては、町の玄関口にふさわしい地区として再生するために計画を策定した。現在、概ね計画通りに事業を進めている。全体予算の中で優先度を勘案しながら予算計上している。

⑤予算減は主に事業完了に伴うもの。公共施設については、財源確保を図りながら計画的に予算措置している。

医療体制整備へ 積立等必要では

議員 医療は行政が一番やらなければならない。公的病院だが公立病院ではないため、町長が方針や姿勢を示すことが大事と考える。

100億の負債とバランスをとり財政を維持しながらどのように体制整備を進める予定か。一般的な感覚としては、何か大きな買い物をする際、今の負債を先に払っておく、貯金をする、サラリーは増えたかと慎重になる。財源や予算措置をしなければならぬ。今年度予算には盛り込まれていないが、次年度以降、何年での程度措置する予定なのか。

町長 協議前なので想定の話だが、まずは病院の起債償還30年間の財政推計・試算を行い、6月に

は財源の見通しも含めた答申を出す予定。方針決定後、役場組織で準備室を設置し具体的に進める。令和3・4年に基本設計、5年に実施設計、6年に着工、8年に新しい病院が開院するスケジュールを考えている。

新型コロナウイルス対策は

議員 農業への影響をどのように把握しているか。与える影響と対策についてどのような考えを持っているのか。また、感染した疑惑があった場合の搬送体制や医療体制はどのようになっているか。

町長 国の融資制度に対する上乗せをする利子補給・保証料の補給を予定している。商工会議所で行ったアンケートで要望が多かったもの。これは当面の経済対策の第一弾。今後、国の方でも追



計画実行は重要だが、 時代に応じた英断を

齊藤 義宗 議員

加の対策が示される予定。農業関係含め、国の動向を見ながら重複しないような独自支援を今後も考えていく。

疑いがあれば、保健所へ連絡することとなっている。疑いのある方が来院した際は、受付で発熱の有無や症状を聞き取り後、救急外来の方に回して分離を図る。診察し、感染が疑われる場合は病院から保健所に連絡し指示を仰ぐ。重篤な方は消防と連携をとり、防護服を着て救急搬送。

都市再生整備事業

議員 都市再生整備事業に大幅な措置がされている。北部に7〜8割の人口が集中していると推計し、中部に1500人。南部に1400人。合わせて1000世帯強と考えている。南部から北部を見ていると、買い物をするところが欲しい。中

部は「発祥の地」で地理的に町の中心。南部や中部から見ると、ここに病院等があれば良いのではと思う。

都市再生整備計画を立てた時から15年経過し、人口も5年で10%程減少。中部・南部にどのくらいの比率で予算措置しているか。

町長 本来であればバランスに配慮した予算編成が必要だが財政状況が厳しい。中部・南部とも歴史的な経過や広域的な街の中心となっていく。分散型のコンパクトシティ化がひとつのモデルとして挙げられている。それぞれの特徴を活かしたまちづくりをやりたい。

議員 総事業費は令和4年までに50億と想定している。財政調整基金の取り崩し額まで計画通り執行されている。

50億という推計は、新町通りが約10億強。関連予算でプラス20億。これに加え、地理的なマップから見た関連事業として余分に10〜20億かかると思っている。

町長 本体は11億ベースだが、人件費や労賃等が上がっているのが、多少増える可能性があるが、30億の中には北海道が実施主体となっている街路整備事業が10億含まれている。また、にぎわいづくり事業として行われている中央団地建替等は、住宅政策となり、これが8億程度。それらを引くと、11億から2〜3割アップするということは想定していない。

議員 計画的に実行し、国・道から事業を確約されたのであれば止めるわけにいかないというのは分かる。それが諸刃の剣で、政治の柔軟性や時代

応じた配慮・変更・英断があるのではないかとと思う。

町長の中で、契約事業や公約を変えなければならぬと判断している材料、例えば予算的なものや財政的なものがあれば確認したい。

町長 都市再生整備事業は別だが、私の公約事業は、財源的な問題や時代の要請、町民ニーズを鑑み、実施できないもの・しない方がいいものを整理して行っている。

町全体の予算については、総合計画策定時点では、総合計画との整合性をとり、現実路線の総合計画となっている。

財政推計の見直しを進めているところ。病院の改築含め、想定されるものを全て含めて全体の見直しをつける。そこに地方債や国の交付税がどうなったということは考えていない。

80人→40人

介護学校定数削減へ

12月12日行われた定例会で「栗山町立北海道介護福祉学校の募集定員を80名2学級から40名1学級へ縮減する」として提案された「栗山町立北海道介護福祉学校設置条例の一部を改正する条例」について、担当である総務教育常任委員会へ審査を託すことになり、審査を進めていました。

担当である教育委員会や道社会福祉協議会など関係機関と意見交換を行い、3月4日の委員会で、常任委員会としての結論を決定、3月19日の定例会で委員会の決定を報告し、討論と採決、附帯決議を行いました。

説明質疑

1/9
2/7
教育委員会

教育長、介護福祉学校長、副校長などから、経営改善計画や経費等の説明を受けたのち、議員からの質疑を行った。

参考意見聴取

1/16
道保健福祉部
道老人施設協

北海道保健福祉部、北海道老人福祉施設協議会を訪問し、道内の介護人材養成・確保の現状と対策や老人福祉施設における介護人材確保の現状と対策、養成校との連携について意見聴取を行った。

少子化の影響で学生全体が減っており、確保のためには高校以前から取り組みが必要。しかし、有資格者がいないと施設が成り立たない現状もある、とのことだった。

自由討議

2/21
採決に向けて

議案に関する論点、争点などを明らかにするため自由討議を行った。

「自由討議」とは？

議員同士が議案について十分に話し合うため、互いに意見を出して検討することを「自由討議」といいます。

通常、町担当者等への「質疑」や参考人からの意見聴取を行ったのち、賛成・反対の立場を明らかにした「討論」により採決されます。



解説

経営改善計画の一環として提案されている。町側は厳しい現状を認識し、目標が達成されなければ何かしら判断すべき。

入学者増の対策は非常に難しい状況。今後は、令和4年度までの入学者数を見て、存廃について判断しなければならない。

学生確保について意見を聞いてもらえなかったことが残念。定数減については意味がないように感じる。

定数減については基本やむを得ないが、経営を考えた時、国や道には財政的な支援を依頼していかなければならない。

開校から30年経過し役割を果たした。ある程度、「いつまでにどうするか」という事まで考えていかなければならない。

大西勝博 議員

藤本光行 議員

鈴木千逸 議員

三田源幸 議員

土井道子 議員

置田武司 議員

※三田源幸 議員については、委員長のため進行を行い、討議には加わっていません。

総務教育常任委員会へ付託

提案された議案について詳しく検討するため、その内容を担当している常任委員会に議案の審査を託すことを「付託する」と言います。



解説

「附帯決議」とは？

「決議」の種類のひとつ。

「決議」は、政治的な効果をねらい、議会や委員会の意思を対外的に表明するために行われる議決のことをいいます。「附帯決議」は、可決された案件に対し、事業を執行する上での要望や留意事項を述べるために提出されるものです。

本町で「附帯決議」が行われたのは、今回が初めてです。



解説

常任委員会報告

可決すべきと決定、
附帯決議

自由討議等を踏まえ、
委員会の結論を全員賛成
で「可決すべき」と決定。

3/5
結論を決定

委員公採決

議案第69号 「栗山町立北海道介護福祉学校 設置条例の一部を改正する条例」 に関する附帯決議



本会議で総務教育常任委員会より
附帯決議が提出され、代表して三田
委員長が提案理由を述べました。

総務教育常任委員会が 附帯決議を提出

【要旨】

開校以来、町内をはじめ道内各地に優れた介護人材を供給してきた。また、学生が町内に居住することによる経済効果や地域の活性化にも貢献してきた。

しかし、平成26年以後、急激に入学者数が減り続け、一般会計繰出金が増加する要因となり、「介護福祉学校あり方検討委員会」で改善策の検討が行われ答申が出されたが、最も重要な学生確保対策に関して対策は見い出せていない。入学者数の減少傾向については、少子化による新卒者減少や介護職に対する悪印象など、社会的・経済的要因が大きく影響し、本町が解決できる範囲を超えている印象が強い。

介護福祉学校は「福祉のまち栗山」のシンボルであり、一定の財政負担は理解できるものの、毎年度、基金を取り崩しながら予算編成を行っている財政状況において、8,000万円を超える繰り出しは町民の理解を得難いと考ええる。

今回の条例改正は、町が示した経営改善計画の一つであるが、最も重要な学生確保対策は、前例踏襲や成功体験を捨て徹底的に検証し、実効性の高い取り組みを求める。

計画では令和4年度学生数2学年80名・一般会計から繰入金3,899万4千円と推計している。超高齢社会を迎えるわが国において、介護福祉学校が持つ存在意義は極めて大きく、将来にわたって存続を願うものであるが、令和4年度の状況によっては、さらに踏み込んだ議論に進まなければならないことをよりいっそう強く認識するところである。

結 果

全員賛成で、 介護学校の定員削減が決定しました

※全文は、議会HPに掲載されている会議録をご覧ください。



会議録 QR
※現在作成中の会議もありま
すが、順次更新されます。

3月定例会

3月3日～19日

¥

補正予算

新型コロナウイルス感染症対策

212万9千円

歳入歳出の総額にそれぞれ3375万3千円を追加し、予算総額をそれぞれ93億850万8千円としました。

▼新型コロナウイルス感染症対策費

212万9千円

▼北海道中央バス運行実績に伴う民間路線バス維持負担金

287万7千円

▼ふるさと応援寄附金代理納付システム等使用料及び決済手数料

24万円

▼宮城県角田市災害復旧支援に係るふるさと応援寄附金代理受付

42万1千円

▼ひとり親家庭等医療費助成

30万円

▼子ども発達・療育支援事業

61万4千円

▼子ども医療費助成

50万円

▼障がい児通所等給付費

500万円

▼未熟児療育医療給付費

40万円

▼障がい福祉サービス法改定に伴う追加

2730万円

▼杵臼地区農事組合再編交付金

18万9千円

▼ロータリー除雪車故障修繕

177万円

▼ふるさと自然体験教育事業

72万円

▼北海道介護福祉学校特別会計へ繰出金追加

154万8千円

▼職員時間外手当追加

1300万円

質

疑

千葉議員 職員の時間外手当補正の内容は。12月

定例会でも職員の時間外

手当の補正があった。前

回の補正の際に、もつと

内容を精査することが必

要だったのではないかと

総務課長 当初予算

1900万円に加え、12

月議会でも1月末までの予

定額で1900万円補正

した。以後、2、3月分

のため新たにお願いす

る。

業務の主な内容は、プ

レミアム付き商品券の販

売事務、保育料無償化に

係る事務、時間外勤務命

令の新制度導入に伴う事

務、予算編成に関する事

務、窓口業務の多様化に

よる事務量の増加による

もの。

今後については、十分

精査して取り進めてい

く。



陳情

審査は議会運営委員会へ付託

▼陳情第1号

「厚生労働省による『地域医療構想』推進のため

の公立・公的病院の『再

編・統合』に抗議し、地

域医療の拡充を求める意

見書」採択を求める陳情

▼陳情第2号

「看護師の全国を適用地

域とした特定最賃の新設

を求める意見書」採択を

求める陳情

▼陳情第3号

「介護従事者の全国を適

用地域とした特定最賃の

新設を求める意見書」採

択を求める陳情



解説

「陳情」とは？

町政についての要望や意見を議会に提出するものです。

【要旨】

▼陳情第1号

1. 病院リストと「再検証」については白紙撤回とすること。

2. 国の責任で地域住民

が医療を受ける権利を保

障する施策を強め、財政

措置を講じること。

▼陳情第2号

1. 看護師の賃金の底上げをはかり、安全・安心

の医療・看護体制を確保

するために、全国を適用

対象とした看護師の最低

賃金（「特定最低賃金」

を新設すること。

▼陳情第3号

1. 介護従事者の賃金の底上げをはかり、安全・

安心の介護体制を確保す

るために、全国を適用対

象とした介護従事者の

最低賃金（「特定最低賃

金」）を新設すること。



条例

介護福祉学校、令和3年入学者から

AO入試制度^{*1}導入へ

▼北海道介護福祉学校の授業料徴収条例の一部を改正する条例

学生確保強化策として、令和3年入学の学生募集からAO入試制度を導入するための改正。

▼放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

法令公布による改正。放課後児童支援員の資格要件緩和に伴い研修期間を延長する。

▼デジタル手続法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

法令公布による改正。情報通信技術の活用による行政手続等の利便性向上・行政運営簡素化・効率化を図る。

▼高齢者介護福祉金支給条例の一部を改正する条例

令和2年度の介護保険料軽減見直しに伴い、介護福祉金の支給額を月額1500円に改める。

▼介護保険条例の一部を改正する条例

低所得者の第1号保険料軽減が、令和2年度より強化されることから関係規定を改める。

▼企業立地促進条例の一部を改正する条例

適用期間を令和6年度まで5年間延長する。

▼道路占用料徴収条例の一部を改正する条例

法令公布による改正。消費税引き上げや地価水準の変動等を踏まえた額の見直し。

*1 AO入試制度

AO入試とは、志望校（志望学部・学科）に対する受験生の意欲や適性、将来的な伸びしろ等を評価する入試方法です。基本的には面接や小論文を通して学ぶことへの意欲や目的意識、人柄や個性などを評価しますが、具体的な選考方法は学校や学部によってさまざまです。

「AO」とは、Admissions Office の略で、各学校の入試先行事務局を指します。



決議

「民族共生の未来を切り開く」決議

【要旨】

アイヌ文化の復興・発展の拠点としてウポポイ（民族共生象徴空間）が白老町に誕生する。

先住民民族アイヌを主題とした日本初の「国立アイヌ民族博物館」等からなるこの施設は、道内各地のアイヌ文化振興の取り組みや食・観光等の多様な魅力とつなげることで、国内外への総合的な情報発信の強化となり、国民理解の促進が大きく期待される。

よって、ウポポイ開設を機に、アイヌの人々の誇りが尊重される社会の実現が図られ、北海道が魅力ある大地であり続けるため、栗山町民の協力



解説

「決議」とは？

政治的な効果をねらい、議会や委員会の意思を対外的に表明するために行われる議決のことです。

を得て「民族共生の未来を切り開く」決意をここに表明する。



「民族共生象徴空間ウポポイ」（公財）アイヌ民族文化財団提供
※本画像はイメージ図です。



賛否の公表

※今回は、賛否が分かれた議案がなかったため、掲載を省略しています。一覧は議会ホームページに載せておりますので、ご覧ください。



第1回定例会
賛否の公表QR

賛否の公表

栗山町議会の“あり方”を定めた「議会基本条例」の第4条第6項に「議会は、重要な議案に対する各議員の態度を議会広報で公表する等、議員の活動に対して町民の評価が的確になされるよう情報提供に努めるものとする」と定められています。



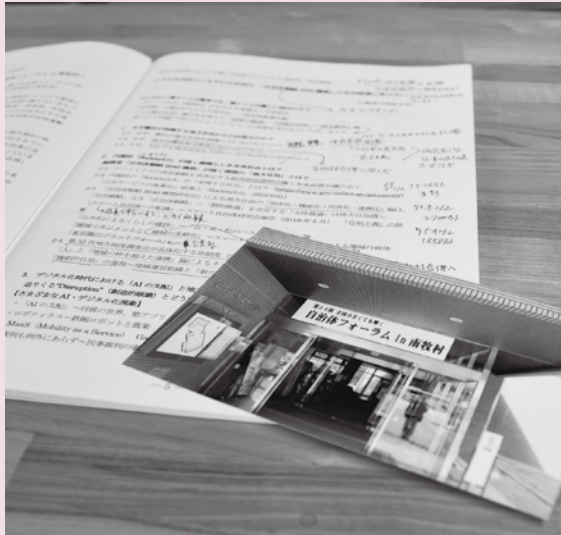
解説

政務活動報告

政務活動は、議員の政策調査研究等の活動です。すべての出張報告書や活動に関する領収書などは、議会HPで公開しています。ここでは、平成31年度（令和元年度）の活動の一部を報告します。



政務活動報告 QR



南牧村は全国で最も消滅の可能性が高いと言われたが、「幸齢者日本」に活動していきます。

南牧村は人口1800人未満、高齢化率60%と日本一高齢化の村。その小さな自治体がなぜ輝いているのか、に注目しそこを学ぶことで本町の政策にも活かすことができると考えフォーラムに参加した。

報告者 佐藤功議員
全国小さくても輝く自治体フォーラム
南牧村は人口1800人未満、高齢化率60%と日本一高齢化の村。その小さな自治体がなぜ輝いているのか、に注目しそこを学ぶことで本町の政策にも活かすことができると考えフォーラムに参加した。

群馬県南牧村

全国小さくても輝く自治体フォーラム

報告者 佐藤功議員

南牧村は人口1800人未満、高齢化率60%と日本一高齢化の村。その小さな自治体がなぜ輝いているのか、に注目しそこを学ぶことで本町の政策にも活かすことができると考えフォーラムに参加した。

の村」を目指し定住促進や高齢者介護・福祉対策などを積極的に取り組み、流入人口が流出人口を上回る成果も生んでいます。

政務活動費収支一覧

(単位：円)

番号	議員氏名	交付決定額	支出内訳		支出金額	残額
			研修費	資料購入費		
1	藤本 光行	240,000	139,697	11,160	150,857	89,143
2	大西 勝博	240,000	140,577	45,090	185,667	54,333
3	友成 克司	240,000	177,524	68,072	245,596	0
4	佐藤 則男	240,000	283,500	2,500	286,000	0
5	土井 道子	240,000	222,710	45,610	268,320	0
6	佐藤 功	220,000	139,644	22,782	162,426	57,574
7	千葉 清己	240,000	230,670	11,160	241,830	0
8	三田 源幸	240,000	80,237	33,804	114,041	125,959
9	齊藤 義崇	220,000	167,680	54,219	221,899	0
10	置田 武司	240,000	203,524	30,908	234,432	5,568
11	鈴木 千逸	220,000	138,776	84,525	223,301	0
12	鵜川 和彦	240,000	131,080	113,610	244,690	0
合 計		2,820,000	2,055,619	523,440	2,579,059	332,577

「政務活動費」とは？

議員の政策調査研究等の活動のために支給される費用です。本町では、月額 20,000 円（年額 240,000 円）が支給されます。支給方法は後払い方式となっており、領収書や出張報告書など、規定の書類を提出することによって支給されます。提出された領収書や出張報告書などは、議会HP等で公開されるほか、専門的知識を有する第三者（現在、公認会計士）による監査が行われ、適正な支出と透明性を確保するための仕組みづくりを行っています。



解説

ギカイの見方 - 委員会レポート -

総務教育常任委員会・産業福祉常任委員会・広報公聴常任委員会では、毎年それぞれが所管する町政課題について調査を行っており、3月定例会で調査の報告が行われました。

総務教育常任委員会

▼防災対策の 実態について

平成30年9月6日に起きた「胆振東部地震」の影響で北海道全域停電「ブラックアウト」を経験し、その後今まで以上に住民の防災対策への関心が強まった。

指定避難所の停電対策に関して、非常用発電機の計画的な設置や小型移動発電機が用意されている。苦情が多かった情報の連絡、伝達方法については、より良い方法を検討



討されているが、令和4年に開局が予定されているFM局は出来るだけ早期の開局が待たれる。

備蓄品に関しては、町内3ヶ所に分け様々な物が備蓄されているが、今年に入ってから新型コロナウイルスの発症による、マスク不足の様な事も想定していかななくてはならないと考える。また、台風19号による水害を受けた姉妹都市の角田市への職員派遣の様な経験を、十分に活かし対応することを望む。

産業福祉常任委員会

▼地域医療の 実態について

医療環境の維持、充実を求めるが救急医療については一部、十分に機能していない点も見受けられる。

栗山赤十字病院改築等検討委員会で医師確保や財政負担等を総合的に考慮した結果、「栗山赤十字病院の改築・改修」が望ましいと判断された。

しかし、改築規模、財政負担、医師確保対策等の課題は、本町地域医療の根幹にかかわる重大なものであり、丁寧な住民説明と栗山赤十字病院との合意の中で速やかに方針を示し、南々空知の中核病院として役割を果たすよう努められたい。

また、この問題については重大な関心を持っているので、改めて議会との充実した討議などを望む。



▼建設事業の 実態について

国庫補助事業の建設事業は適期施行に配慮した事業採択を要請し、町単独事業は可能な限り地元企業及び地場産業の振興のため栗山産資材の使用等に配慮した発注を望む。

上下水道は、町民の基本的なライフラインであり、順次、点検・更新し、長寿命化に取り組まれたい。

広報公聴常任委員会

▼議会広聴の 実施について

議会報告会では、まちが直面する課題について重点的に説明を行った。

今後、こうした取り組みが政策形成サイクルの起点として、有効に機能するよう、より一層の調査、研究を進める。

▼議会の広報誌の編集 及び発行について

先進地の編集技術等を活かし、議会モニターの意見も取り入れ、町民が手に取って読みたくなる広報誌づくりに取り組むこととする。



皆さんの声を これからのまちづくり

意見・要望を町長に提言



鶴川議長から佐々木町長に提言書を手渡しました（3月27日）

令和2年2月3日から10日の日程で、町内全12会場で開催した議会報告会には、283名の参加がありました。

報告会では、主な町政上の課題、議会活動、議員のなり手問題について、説明、意見交換を行いました。

昨年9月に廃止が決定した栗山町スキー場について、廃止決定の経過を報告しました。また、2年連続で無投票となつてしまった議員選挙に伴い、議員のなり手問題について、現在議会として取り組みを行っている内容を報告しました。

町政上の課題については、特に、重要である日赤病院の改築問題のほか、介護福祉学校の存続、栗山高校の存続、地域特有の課題などについて、数多くの意見や要望が出されました。

これらの意見や要望は広報広聴常任委員会においてまとめを行い、提言書として、鶴川和彦議長から佐々木学町長へ手渡しました。

行政や議会から回答が必要なものについては、次ページにて掲載しています。

提出した提言書や実施結果（参加人数）、当日配布した資料は、議会HPで公開しています。



議会報告会 QR

提言書の概要

① 栗山赤十字病院の改築について

栗山赤十字病院の改築問題は、まちが直面する課題として、町長、議会の双方が町民との対話を続けている。

参加者の多くが栗山赤十字病院の存続（建て替え）を望むなか、存続にあたり広範にわたる意見が出された。病院機能の充実強化を中心に財政的課題に対する懸念等が多くみられたが、特徴的であったのは行政、議会の双方に対し、改築問題に対する情報を出してほしいということであった。

これは、自治基本条例の重点である情報公開と共有、そして住民参加につながるものである。

こうした取り組みが、病院改築問題という本町にとって極めて重大な問題に対して、住民の理解

と信頼を得ることにつながる。と考える。

今後、基本構想の策定にステージが移っていくが、人口減少という難しい局面のなか、より多くの町民に信頼、期待される南々空知の中核病院として相応しい構想となるよう議会、町民との情報共有をしっかりと行うことが鍵となると考え、令和2年議会報告会における提言とする。

② その他、地域課題等に対する町民からの発言

● 介護福祉学校について
栗山高校と同一施設内にできないか。等

● 栗山高等学校について
給食センターを利用して給食を提供してはどうか。等

● その他
人口減少に伴い、町としてどのような策を行っているか。町民の交通手段をどうするのか。タクシー会社が減になると困る。等

議会への意見

Q…定数はこれ以上減らさず、選挙できるような努力してほしいです。

A…現在、特別委員会を設置し、調査研究を行っています。報酬と定数に関しては、令和4年9月までに結論を出す予定で、活動は有識者からの意見聴取と可能な限り町民と対話し、考えていきます。

Q…政務活動費は期によって額を変え、使い切るべきだと思います。

A…議会には議員平等の原則があり、役職（責務）によって報酬に差異を設けることはできませんが、政務活動費は議員が活動に必要な経費を公平公正に支給されるべきもので、期によって額を変えることはできません。

また、使い切ることが最善とは言えず、必要に応じて使えることが肝要

で、どれだけ政策提案や行政監視に結びつけられたかが重要です。

Q…子どもの視点をまちづくりを活かすため、子ども議会を行ってほしいです。

A…近年、主権者教育として、小中学校や高校と連携し、子ども議会や議員と子どもたちが一緒に考えるワーク等の取り組みが増えています。

本町議会でも、小中学生や高校生、介護福祉学校生などを対象とした主権者教育等に取り組んでいきたいと思っています。

Q…出張議会をしてくれれば見学しやすいです。

A…傍聴しやすい環境を整えることは重要ですが、議場以外の場所で行うことは人・設備に課題があり難しい状況です。議場での傍聴が難しい場合は議会ライブ中継・録画配信をご覧いただきたいと思っています。

Q…議会が政策提案する



ように活性化し、議会の魅力づくりを行ってください。

A…議員研修や政務活動費を活用して資質向上に努め、道外政務調査や常任委員会先進地視察などで全国の先駆的事例を調査しています。

研修や調査結果を議員間討議や常任委員会活動で活かし、本質的な政策提言ができるよう努めます。また、議員・議会活動が魅力的と感じていただけのような情報発信につ

いても検討を進めます。

Q…町政懇談会と変わらないと思います。もっと議員個人の意見が聞きたいです。

A…議会報告会は、議会活動の報告・説明と町政に関する情報提供、議会活動や町政に対する意見等を聴く機会です。また、議会が決定した経過等を重点に説明し、この点が町政懇談会と違う点です。個人の意見は述べないことにしており、今後見直しを検討します。

行政への意見

Q…雨煙別川の河川改修の進捗状況を知りたいです。

A…下流から雨煙別橋（旧三栗線）まで改修が終了し、令和2年度は雨煙別橋から上流（がくえん橋付近）の河川改修、ホテル付近の親水護岸、がくえん橋架換、管理用道路の舗装及び緑橋（道道鳩山継立線）までの一部調査設計と用地買収補償を予定しています。

Q…空家問題について、自治会で要望しています。答えがないです。

A…昨年6月に文書で回

答して以来、動きはありません。また個々の状況は個人情報を含むため、回答できません。今後動きがあれば個別にお知らせします。

Q…岩見沢・栗山入口234号線の桜丘の空家対策をしてほしいです。

A…桜丘国道沿いの老朽空家は、特定空家等に認定し指導の末に3件解体済みです。今後も対策を進めます。

Q…南学田3号線、万世橋から排水溝の際が下がっているため、補修してほしいです。

A…現地確認を行い、補修が必要であれば雪解け後に補修します。



町政の ここが聞きたい



第1回定例会一般質問
録画配信 QR

7 議員が一般質問

千葉清己 議員

- ①ものづくりD I Y工房事業の再検証を … P17

鈴木千逸 議員

- ①連動型事業別予算を取り入れては … P18
②栗山赤十字病院の整形外科の充実を … P18

佐藤則男 議員

- ①外来生物による農業被害の調査と対策は … P19

齊藤義崇 議員

- ①地域医療の構想と理想像は … P20
②地域交通の整備方針は … P20

土井道子 議員

- ①魅力を高めるため積極的に情報発信しては … P21

佐藤 功 議員

- ①コロナ対策による休校期間の短縮やケアは … P22
②F M放送局の運営体制等は … P22

置田武司 議員

- ①「関係人口」を今後のまちづくりに活用しては … P23



千葉清己 議員

DIY工房

Q：事業の再検証を

A：別なモデルを基に事業推進する

議員 令和2年度の町政執行方針に「ものづくりDIY工房の導入を推進する。」とあるが、本町のものづくりDIY工房の原型で、富士通が全額出資した「テックショップ東京」はこの2月29日をもって閉店した。

閉店の理由は明らかではないが、民間施設なので利益が上がっていれば閉店することはないと思われる。

「テックショップ東京」は東京の六本木エリアで営業していたことから栗山町の目指す「ものづくりDIY工房」よりはるかに多くの利用者がいたにもかかわらず4年足らずで閉店した。

これを見ると栗山町の「ものづくりDIY工房」も、起業や事業拡大を目指す人材育成という事業の目的からも困難性を伴うことから再検証すべきと考えるが町長の考えを聞きたい。

町長 「テックショップ東京」の閉店については、ものづくりDIY工房導入支援業務委託事業者、富士通株式会社北海道支社より報告を受け、閉店に至った経過を確認した。

「テックショップ東京」は、同社の100%出資により、2016年4月にオープンしたが、当初より3年間の経営状況などをみて次の展開を判断するとされており、さらに昨年同社社長の交代で経営方針が大きく変わり、IoT、AIなどを活用した新しいビジネス展開を重視し、一定の役割を終えたものと判断され閉店に至ったとのこと。

本事業着手当初、同社よりDIY工房の導入・活用に向けた先駆的事例のノウハウ提供を受け事業を進めてきた。国内での事前調査、分析、各関係者の意見などを踏ま

え、「テックショップ東京」のような大規模かつビジネス特化の施設ではなく、小規模で地域密着型の施設とする方向付け

がされた。

昨年、担い手として地域おこし協力隊を採用。「ファブラボ鎌倉」をモデルに、ものづくりによ

り地域課題を解決するという観点で事業を推進していく。



昨年10月、試行として小学校高学年向けのプログラミング講習が行われた

Q：連動型予算書を取り入れては

A：システム改修含め、今後協議する

予算・決算



鈴木千逸 議員

共同管理費		1,000
0105200	○文化振興課	
国分寺まつりに要する経費		7,099
01 報酬	(	1,096)
会計年度任用職員報酬		1,096
08 旅費	(	112)
会計年度任用職員通勤費		112
13 使用料及び賃借料	(	691)
事業用物品借上料		691
18 負担金補助及び交付金	(	5,200)
実行委員会補助金		5,200
0105400	○文化振興課	
文化振興施策の推進に要する経費		1,843
07 報償費	(	242)
講演会講師謝礼		26
ホームページ管理者謝礼		4
市民活動推進事業等審査会委員謝礼		104
文化振興計画推進アドバイザー謝礼		108
10 需用費	(	67)
消耗品費		23
印刷製本費		44
18 負担金補助及び交付金	(	1,534)
文化団体連絡協議会補助金		534
芸術文化振興事業補助金		1,000
0105500	○文化振興課	
市民文化祭に要する経費		1,114

予算が事業別でわかるようになっている（国分寺市）

議員 議員研修で、連動型事業別予算の有効性について、東京都国分寺市をもとに解説いただいた。国分寺市では、予算書・決算書・事業報告書までが同一の事業番号で統一されており、一連の流れが可視化・共有化されている。これにより、議会での予算・決算審議の上で政策の過程や今後

の予算について、従来より効率的・効果的な調査が可能となり、結果として、町民の利益につながると期待ができる。健全な財政運営を維持するためにも、効率よく速やかに政策内容が判別できる連動型予算書の手法を本町でも取り入れたいと考えるが、町長の見解を伺いたい。

町長 現在、栗山町では「第6次総合計画」による計画事業と、それ以外の一般事業とに区分し、各事業単位で予算編成を行っている。一方で、議会に提出する予算書、決算書は地方自治法に基づく目的別、性質別区分での表記となっている。このため、予算審査では「第6次総合計画進行管理計画」、決算審査では進行管理計画をベースとした主要施策の成果表などを補完資料として作成している。国分寺市などでは、歳入歳出事項別明細書も、説明欄により、事業別の予算詳細を表記している事は把握している。まちづくりを推進していくためには、健全な財政運営はもとより、財政の透明性を高める事が重要であり、これらに対応した予算システムの改修なども必要。今後、議会と十分協議する。



議員 栗山赤十字病院では、整形外科の外来診療は午前中のみとなっており、不便を感じている方が多くいる。特に、高齢化率40%に迫る栗山町で午後の診療を要望する声を多く聞く。午後にはゲガをした場合、公的病院である栗山赤十字病院を受診することができない現状について、このままでよいのか。もう少し予算を措置してでも充実を図るべきではないかと考えるが、町長の見解を伺う。

栗山日赤

Q：整形外科充実を

A：改築含め検討



町長 整形外科の診療時間は午前中のみとなっているが、本町は町内診療所に対応出来ない整形外科の入院機能等に経費の一部を補助している。診療体制の充実に関しては、整形外科に限らず多くの要望があり、医師確保の問題等も踏まえながら、栗山赤十字病院と協議を行い、本町の地域医療をどのように守っていくかの観点で今後、栗山赤十字病院の改築問題も含めて検討する。



佐藤則男 議員

外来生物

Q：農業被害の調査と対策は

A：現時点で特別な策は講じない

議員 マダラコウラナメクジは、ヨーロッパ原産で日本では2006年に茨城県で初めて生息が報告された。日本の一般的なナメクジが体長5センチ程なのに対し、最大で15センチ程にまで成長する。成人男性の指先から手首までに至るほどの大きさで、鮮やかなヒョウ柄の模様が特徴である。調査によると東日本の8都道県に生息していることがわかっており、輸入されてきた植物や農作物にナメクジの卵がついて日本に上陸したという説が有力である。体が大きい分食べる量も多く農作物への被害が懸念される。

栗山でも被害に遭われている方がいる。被害が拡大しない様に、調査をして対策を講じる必要があると思うが、町長の考えを伺いたい。

町長 外来生物で

ある「マダラコウラナメクジ」については、近年、日本でも発見され、北海道においても広く生息が確認されており本町でも一部地域で生息が確認されている。

農作物の影響であるが、昨年町内農業者より空知農業改良普及センター空知南東部支所に、軒先で発見した「マダラコウラナメクジ」についての相談が1件あり、ナメクジ用薬剤の散布を行い、経過観察をするよう指導が行われている。

また、キノコ栽培への小規模な被害も確認されているが、その他の農業被害・相談については報告されていない。今後の対策について



栗山町で発見された、マダラコウラナメクジ（写真下）

は、空知農業改良普及センター空知南東部支所及びそらち南農協より、農作物への付着などがあつた場合、一般的な農産物への防除対策と同様の指導・対応を行う旨の報告

を受けているところであり、現時点では、町として特別な調査及び対策を講じる考えはないが、今後関係機関と連携して対応していく。

質問は要約されています

議会だよりではスペースの都合上、審議した議案や質問・答弁の内容を要約して載せています。

会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局までお問い合わせください。

Q：構想と理想像は

A：安全・安心な医療環境を基本

地域医療



齊藤義崇 議員

議員 本町では、栗山赤十字病院の建物老朽化に加えて、巷でも地域医療体制の再構築が必要であると話題になっている。1月末には、改築等検討委員会より、改築・改修が最も望ましいとの答申を受け、議論が加速すると考えられる。



南空知1市4町の人口は約4万5千人、総面積は1350km²で、第2次医療圏4市5町の人口の25%、面積で50%を占める。夕張市・由仁町からの来院者も多い、栗山赤十字病院の果たす役割は大きい。そこで、地域医療の構

南空知医療の中核を担う栗山赤十字病院

想と理想像について、町長の考えを伺いたい。

町長 来年度早期に「栗山町病院整備方針」を決定し、基本構想計画の策定に着手していく。本町が担うべき地域医療の在り方については、急性期の患者を2次医療圏の医療機関へと繋ぎ、在宅復帰に向けた医療提供や救急医療体制の充実を図るとともに、近隣市、町との医療機能の分化と連携を図り南空知の拠点病院として、地域密着型の医療提供が重要であり、安全・安心な医療環境を基本に病院整備を目指す。

町長 人口減少や少子高齢化利用者の減少など、地域公共交通を取り巻く社会情勢は大きく変化しており、単に現状路線の維持だけではなく、公共

議員 本町では、通園・通学をはじめ高齢者など、町営バスやハイヤー運行がなければ、日常生活は成り立たない。現在は町営バスが民間の力を借りて8路線を運行、夕鉄・中央バスが3路線を、2社がハイヤーを運行し、町内をカバーしている。そこで、本町における今後の交通網の整備方針と、運行数や予算、それに伴う町民負担について、町長の考えを伺いたい。

交通ネットワーク全体を一体的に形づくり持続させていくかが重要であり、今後、令和3年度に新たな地域公共交通計画の策定を予定している。併せて、昨年実施した「バス交通に関するアンケート」の意見等も踏まえ令和4年度から新たな運行体制に向け、作業を進めている。また、町民負担の面を含め必要に応じて見直しを行いながら、町民生活の大切な移動手段を確保したいと考えている。



地域交通

Q：整備方針は

A：新計画策定予定



土井道子 議員

魅力増進

Q：積極的に情報発信しては

A：HP 等活用し効果的に発信する

議員 これまでに、新聞やテレビ報道、栗山町のホームページを見て、イベントに参加するなど栗山町民と関われることを大切に思ってきた。

くりやま老舗まつりや匠まつりなどのイベント等に携わる人たちの一生懸命さに胸が熱くなる思いを何度も経験している。

最近、女性たちの集まりのなかから、栗山町は素晴らしいけれど、こんな点がよくなったらもっと住みやすく働きやすいのではという声を聞くことがあった。若い人や子育て中の人たちが、栗山町に住みたい、働きたいと思えるように、そしてそれが実現されることによつて栗山町の魅力がさらに高まっていくという、次の3点について、町長の見解を伺う。

①家やアパートなどを探す人に、学校や保育施設、病院、コンビニなど

暮らしに必要な情報を記した地図をHPで提供。

②求人希望の企業や商店また学生の就活者のために、栗山町移住の助成制度のPRを積極的に行う。

③これらの情報をわかりやすい冊子にして、図書館や栗山プラザなど町内の施設に設置しては。

町長 ①町HPのリンク先である、くりやま移住促進協議会のHPでは、地図記載のある移住・定住パンフレット「くりやまさとやまらいいふ」や、「栗山町観光パンフレット」の閲覧やダウンロードが可能となっている。

②若者が栗山町内に就職、居住する際に受けられる支援制度としては、若者移住促進事業と、今年度創設した「Uターン等奨学金返済助成事業」がある。

これらの制度は、町広報やHPにより周知をしているほか、Uターン

等奨学金助成制度については、道内の大学・専門学校等に対し、ポスター等を送付し、PRしている。

なお、町内企業等には、家賃助成を受けられ

る「若者移住促進事業」のPRについても、SNS等を活用し、効果的に進める予定。

③既存の子育て支援策等をまとめたパンフレット等を、今後、図書館や栗

山プラザなどの各施設にも設置していく。

また、冊子の設置だけでなく、各年齢層に合った、効果的な周知方法により、情報発信を進め



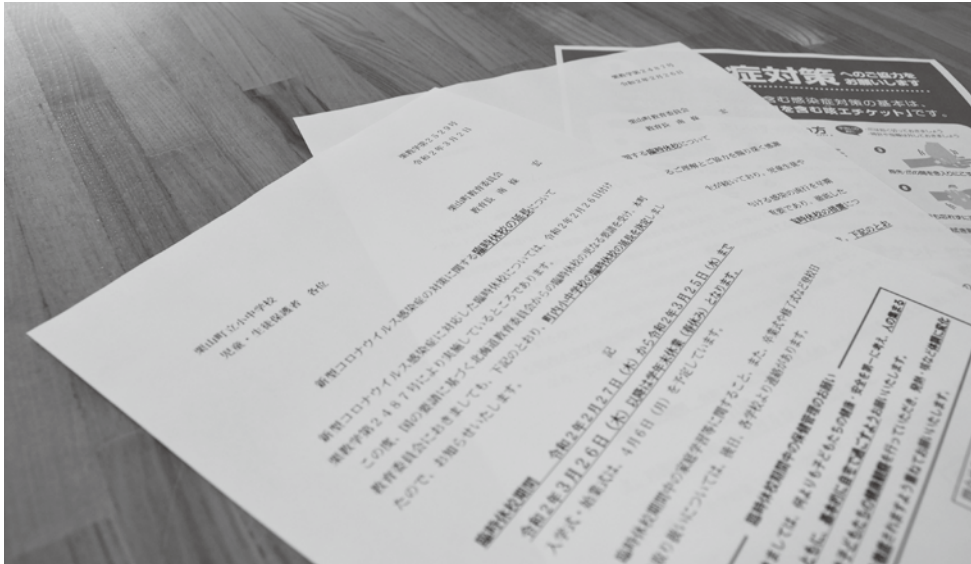
図書館にはパンフレットがまとめられたファイルが設置されている



佐藤功 議員

Q：休校期間短縮やケアは

A：保健所と連携し慎重に進める



児童・生徒保護者には、臨時休校延長の通知が配布された

議員 本町は今回の新型コロナウイルス感染症対策に対して、いち早く「対策本部」を立ち上げ、3月広報で町民にその状況を周知し、3月5日時点で栗山町での感染者の報

告はない。そうした中、道内では臨時休校期間短縮等の検討を始める自治体もある。小中学校の長期臨時休校について教育長の見解は。

教育長 新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、北海道教育委員会からの要請に基づき、本町の小中学校を2月27日から3月4日までを臨時休校とした。さらに内閣総理大臣の発表を受けた北海道教育委員会からの要請により、3月25日まで臨時休校を延長した。①休校期間短縮の考えは、現段階ではない。②保護者に対して学年通信の配付や電話で健康状況の把握に努める。③休校期間中に行う復習プリントを郵送している。

①3月25日までとしている休校期間短縮の考えは。②卒業や進級・進学の時期であり、子どもたちの心のケアが必要と考えるが。③児童・生徒の学習指導は。

F M放送

Q：運営体制はA：準備すすめる

議員 「栗山町第6次総合計画」では、コミュニティ放送局を令和4年度に開局し、災害時の情報伝達手段として活用するとしている。また、平成30年9月議会で、開局に合わせて「緊急防災携帯ラジオ」を無償配布するとあった。開局までの流れとその後の運営体制及び行政の関わりについて町長の考えは。

町長 今年度は、すでに開局している岩見沢市やニセコ町などの運営状況や放送内容について研修している。令和2年度には構想を策定し、町民や町内企業などへの説明を行い、放送局の運営組織設立に向

けた準備を進める。令和3年度には運営組織になる法人を設立し、コミュニティ放送局の免許取得を進める。また放送施設整備の実施設計を行う予定である。令和4年度には、放送局を開局する予定で、あわせて緊急時に自動で起動するラジオの配布も行う。





置田武司 議員

関係人口

Q：今後のまちづくりへ活用を

A：様々な分野での活用を図る

議員 過疎化や少子高齢化が、予測を超えたペースで、進行している。一極集中へと地方から人口の吸収、人口減少が加速し、より過疎が深刻化する現実がある。

地方創生の政策の中で「関係人口」というキーワードが注目されている。「関係人口」とは移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、「地域や地域の人々と多様に関わる人々」を指す。「ふるさと」に思いを寄せる地域外の人材とのネットワークを形成し、地域貢献する人材が「ふるさと」との関わりを深め、地域創生に効果を上げている。第2期「まち・ひと・しごと創生戦略」に、多くの自治体が「関係人口」の関連施策を盛り込もうとしている。

移住、交流に新たな切り口の「関係人口」が、地方のまちづくりの新しい戦略として、成果、効果が期待されると思います。

執行方針にもある、「関係人口」を今後の「まちづくり」により幅広い分野で活かしていくか、町長の見解を伺う。

町長 「栗山町第6次総合計画」及び「栗山町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、移住・定住人口や交流人口の拡大を推進してきた。また、関係人口に関して、暮らし体験事業やクリエイターズマーケットの開設、ふるさと納税制度の推進など、本町に関心を持ち、1人でも多くの栗山ファンを獲得できるよう、様々な取組を進めてきたところ。令和2年度においては、これまでの取組を着実に推進しつつ、新たに、企業版ふるさと納税やシティープロモーション事業の積極的な展開など、くりやま



関係人口拡大のため、東急ハンズへの出展も行った

ブランドを活かした関係人口の取り組みを強化する。

移住、交流の新たな切り口である関係人口は、地方創生に向けて重要なキーワードの1つであり、地方移住の裾野の拡大にもつながるものである。

の方が本町への関りを深め、そのつながりを継続していきける仕組みづくりを検討しつつ、様々な分野での活用を図りながら、移住・定住人口や交流人口施策と合わせた、総合的な人口減少対策を推進していきたいと考えている。

議会中継をご自宅で見ることができます

議会では、インターネットによるライブ中継（生中継）と録画配信をしています。栗山町議会ホームページからご覧ください。

栗山町議会

検索



6月定例会の開会日

6月23日～

議会の予定

6月 19日(金) 議会運営委員会
23日(火) 第3回議会定例会
～ 26日(金)

※全て9時30分開会予定です

議会の予定は変更になる場合があります。議会事務局または議会ホームページでご確認ください。



議会に行こう！

傍聴 は議会活動に触れる最も身近な方法です。皆さんの選んだ議員の活動や町政の方針などを、ぜひご覧ください。

会議当日の受付で傍聴できますので、役場旧庁舎3階の傍聴席入口までお越しください。

くりやまぎかいだよりNo. 163

2020年(令和2年)5月1日発行

発行/北海道栗山町議会
編集/広報広聴常任委員会
〒069-1512

北海道夕張郡栗山町松風3丁目252

Tel 0123-73-7517/Fax 0123-72-1233

<http://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/gikai/>

E-mail gikai-jimukyoku@town.kuriyama.hokkaido.jp

印刷/山東印刷株式会社



間伐で未来につなぐ北の森

ひとこと

「羊と日本人」

さいとう たかひろ

齊藤 隆浩さん(共和)



羊は9月頃種付けをして翌年2月末から出産が始まり3月にピークを迎え4月まで続く。この文章を書いている日(3月23日)今がまさに出産ラッシュである。

羊は人が見ていない隙(スキ)を狙って出産する。日が落ちて暗くなった夜や早朝、お昼休みで家に戻った時など。夜間や人が見ていない隙(スキ)に産むのは外敵から身を守るための野生の勘なのだろうか？

羊は陣痛で苦しむ様子をほとんど見せない。産む直前まで普通に群れで過ごし普通に歩き回り普通にえさを食べる。だから人間は羊の陣痛に気づかないのだ。まだ大丈夫だと思ってお昼休憩で家に帰り午後から羊の様子を見に行くと産んでいたりする。さぞ痛かっただろうに産んだ母羊は素知らぬ顔で赤ちゃん羊を舐めている。

赤ちゃん羊は産まれてすぐに立ち上がりお母さん羊の母乳を飲む。出産は羊を飼育していて最も強く生命力の強さを感じる瞬間だ。子羊は一カ月程度で母乳をやめて牧草やエサを食べ始め一年も経つと立派な羊になるのである。

羊の忍耐強さと日本人の忍耐強さは似ていると思う。

東日本大震災の復興ボランティアや胆振東部地震を経験しているが、被災し生活が不自由になっても暴動が起きた話など聞いたことがない。長い列にちゃんと並び、弱者がいれば譲り合い、支えあい、そして皆笑っているのである。

こんなに忍耐強い国民が世界にいるだろうか。

コロナウイルスが猛威を奮っているがこの難局も日本人なら必ず乗り切ると信じている。

ちょっと強引に羊と人間を結び付けてみた。

表紙の一枚！



(場所:ファミリー・サポート・センター)

撮影 土井道子

ママは、お仕事に行ってるよ！
あそんでもらったのしいな



広報広聴常任委員会(広報小委員会)

委員長/土井道子 副委員長/佐藤 功

委員/佐藤則男 千葉清己 齊藤義崇 鈴木千逸

ホームページ QR



くわしい情報は栗山町議会ホームページへ！

栗山町議会 検索